

日仏交流150周年記念 シンポジウム

# 「美術館の未来 ～社会と対話する美術館」

申込締切  
**11/12**  
(水)

日仏交流150周年を記念して、日仏の美術館における美術教育活動をテーマとしたシンポジウムを開催します。

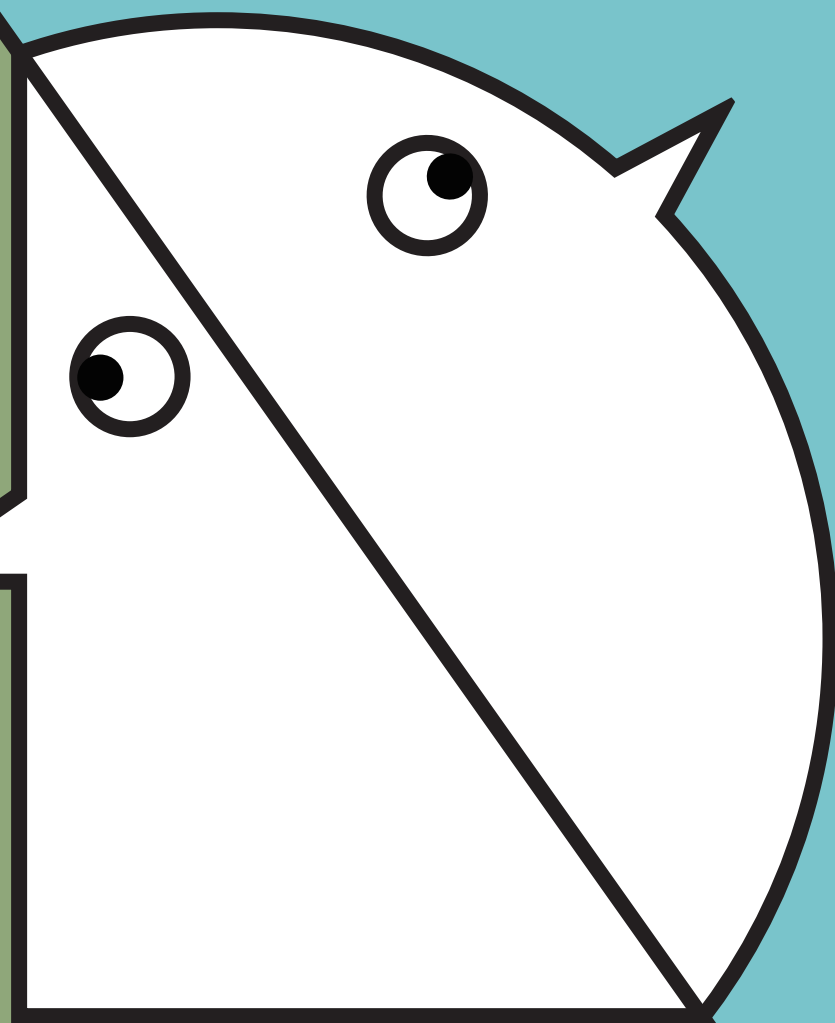
美術館に求められる役割やその存在意義が大きく変化する中で、芸術文化と人々を媒介する役割(メディエーション)がますます重要になっています。人々と美術館がどのように対話をしていくのか、あるいは社会と美術館がどのようにコミュニケーションをしていくのかという課題を提示し、日本と異なる発想や方法でこれに取り組むフランスの事例を紹介しながら日本の関係者と問題意識を共有する場にしたいと考えています。どうぞ奮ってご参加ください。

## 開催概要

日 時：2008年11月29日(土)  
9:30～18:10  
会 場：丸ビルホール(東京・丸の内・  
丸ビル7F) 300席  
主 催：日本経済新聞社  
後 援：フランス大使館、日仏美術学会  
特別協力：三菱地所  
協 賛：損保ジャパン、大日本印刷

受講対象：日仏文化関係者、美術館関係者、  
教育関係者、教育普及・アート  
マネジメント・アートプロデュース  
専攻の学生、一般

使用言語：日本語・仏語 / 日仏同時通訳付



<http://www.nikkei.co.jp/events/>

日仏交流150周年記念 シンポジウム  
「美術館の未来～社会と対話する美術館」

プログラム

9:30~11:00

地方都市における試み：メディエーターとしての美術館  
「若者を巻き込むプロジェクト」

仏側参加者：MAC/VAL (ヴァルヌ・ド・マルヌ現代美術館)  
来館者担当部教育普及担当 ステファニー・エロー氏  
日本側参加者：金沢21世紀美術館 学芸課長 不動美里氏  
モデレーター 武蔵野美術大学芸術文化学科教授 岡部あおみ氏

10分休憩

11:10~12:40

教育普及活動の方法（メソッド）と  
メディエーションについて1

仏側参加者：ポンピドゥー・センター国立近代美術館  
教育普及・パブリック局長 ヴァンサン・プスウ氏  
日本側参加者：神奈川県立近代美術館普及課長 太田泰人氏  
21\_21デザインサイト社長 原木繁利氏  
モデレーター：武蔵野美術大学芸術文化学科教授 岡部あおみ氏

昼食

14:00~15:30

教育普及活動の方法（メソッド）と  
メディエーションについて2

仏側参加者：フランス大使館文化担当官、元カルティエ現代美術財団学芸員  
エレヌ・ケレマシュター氏  
日本側参加者：東京都現代美術館教育普及係長 郷泰典氏  
モデレーター：三菱一号館美術館館長 高橋明也氏

10分休憩

15:40~17:40

街と関わる試み

仏側参加者：パリ・アトリエ所長 ジャン＝イヴ・ラングレ氏  
パリ市美術館局長 ケヴィン・リフォー氏  
日本側参加者：三菱地所 街ブランド企画部長 恵良隆二氏  
モデレーター：三菱一号館美術館館長 高橋明也氏

17:40~18:10

総括

岡部、高橋両モデレーター

応募要綱

申込方法

事前予約制

こちらの応募フォームから、もしくはお名前・所属（会社名・団体名）・  
部署名・役職・ご住所・郵便番号を明記の上 FAX にてお申し込み  
ください。

- ・1名様で複数のご応募は無効とさせていただきます。
- ・お申し込みが多数の場合は抽選となります。
- ・当選の方には「受講券」を、選にもれた方には「落選通知」を送付します。
- ・当日は、シンポジウム受付にて「受講券」を必ずご提示ください。
- ・都合により、プログラム・講師・演題等は変更される場合があります。ご了承ください。  
最新情報は上記Web サイトでご確認下さい。

申込締切

11月12日（水）当落の結果は11月19日前後に郵送にてお知らせします。

お問い合わせ

美術館の未来シンポジウム事務局

〒104-0061 東京都中央区銀座 2-16-16 GINSEN ビル 6F

TEL.03-3545-2516 FAX.03-3545-6993